

昭和三十六年十二月二十六日招集(才三才)
第四回市議會議定例會議錄

館山市第四回市議会定例会々議録(第三号)

昭和三十六年十二月招集

十二月二十六日(火曜日)

一 議事日程(第三号)

第一 議案第九九号 館山市火災予防条例の制定について

第二 議案第一〇〇号 館山市市税条例の一部を改正する条例制定について
一 本日の会議に付く事件

議事日程に同じ

一出席議員 三三名

一欠席議員 一名

一 番川 名 彦 吉

午前十一時 三十分開会

議長(鴻貫壮作君) 本日のお席議員数三三名、これより第四回定

例会第三日の会議を開会いたします。

本日の議事はお手元にお配付の日程表により行います。

日群第一議案第九九号下上程いたします。

以下朗読下有署名してくわしい説明をしていただきますこと
思いますまいかいちうとうか

(「異議」——と呼ぶ者あり)

議長(鴻貫壮作君) 御異議——と認めます。

よって朗読下有署名いたします。

総務課長(山本 実君) 議案第九九号について御説明申します。

初めに本条例の制定理由を申します。

国において一昨年以來火災予防と人命の安全を下げかるた
めに消防法の改正危険物制度の制定、さらに本年四月消
防施行令下消防関係において今まで比較的遅れておいた

予防行政、面々整理することと下可決したのでございます。
予防行政の面々改革各團並に仕上げていこうという考え
の下に今般消防方で起草されました予防標準則に基きま
して本条例を制定しようとするものでございます。従来
の条例は一章三章三節であつたのでございます。そう
して条例そのものは三〇条あつたんですが今回は五〇条
非常に条文の目録が細かくかつ具体的に明示されてある
つてございます。これはいい、とするとやはり新時代に適
合した文化政治にあらざる災予防、こういう点はこの条
例に現われているあります。

第一条の目的について御説明申し上げます。

この目的は大災予防上必要は法的根拠とする条文でござ
います。そして、にある条文によります。この条例で定めよ
うとするものでございます。具体的に申し上げますと

公衆、出入する場所 また又下使用する設備の位置
構造及び管理の基準等 又又に関する警報発令中に
おける火の使用の制限 こういふものを中心として
して条例をひきつゞいておいておきます。

第二章でおおいます。公衆の出入する場所の規定をい
います。公衆の出入する場所と多数の者の勤務する場所
において規定してあるものをおおいます。これは消防法
第四条の規定でおおいます。こういふもの、主入検査
の場合に公開時間中 日のおはう日没時間中主入検査で
あるという建築物をおおいます。

次に第三章火下使用する設備の位置構造及び管理の
基準等でおおいます。第三章から一七条 この内は火下
使用する設備及びその使用に際して火災の発生のおそ
れのある設備、位置構造及び管理の基準についてお

べい、ま読んだように細かく規定し設けようとする
ものでございます。各条項の対象物として読みますと
第3条家庭用より工業用に至るまでの炉及びカ
マドについて規定したものであります。4条ボイラ
ー、5条ストーブ、第7条乾燥設置、第8条ガス
湯沸設備、という、各方法でも、一七条までに細かく
その内容について規定し設けようございます。
第11条の氷素がスチールとする。第12条につい
ては最近事件に起る例もございまして、特に新し
い条文として掲げようございます。
次に一三條、一四條及び移動式のストーブについて、次の
通りとする。一五條のラニニ条、これは火の便用する器具
の取扱いの基準として規定したものでございます。
火鉢、置火鉢等でございます。

規定してございます。危険物に一番関係のあるものは第四類に該当するものでこれは大抵ね石油でございます。

次に二ページ、第三三条で危険物の貯蔵でございます。すべ^取取との基準として、に専門的に銘記してございます。まず、危険物というものは法令でも、つまり指導されてきた。一昨年のう理在にいたるまで、市におきましては危険物協会とか、そういうもの、設計をしてきた。この点については嚴重に取締まる、さらにこれに準じて本条例を取り締まろうというものでございます。今回の規定、本条例についてはいくつか、重要な点でございます。次に第五章避難管理でございますが、これについてやはり具体的に規定してございます。三十五条から

四二条までごまかします。 三九条は劇場について

はすでに建築法等によつてやられてあります。三七

条のキャベレー等の客席でござります。この法律は

一六全国統一するにめり館山市より関係のハッキャ

ベレーの制限でござります。 第三八条

百貨店及びマーケットの売場 三九条 展示場、展示

部分 第四〇条劇場等の定員 四一は火災予防工持必要

なことにいふ。二号に客席の避難通路に客

手収容するはいいけないうものではないです。お持

満員の場合でも避難通路はあけておくという

こととごまかします。 第四二条は一時のハッというもの

使用する場沙汰においておこなう準用するといふうに

規定してあります。 四三條から四七条は建築物

その他の工作物の使用の届出によつて消防署より消防

方へ事前に届かせる。これは今まで
と変、この点でございす。第四五条火災とまうらぬ
―の煙等下発する物それ、ある行為等、届出
望楼のう眺めると火災かどうか、わかんない、一本
こうい、マカの下使用する場合に届出ていなくて
というものでございす。次に四九条でございす。が
罰則規定これはやはり、本法の方の罰則規定であら
うでございす。一六市、条例という―で本法
に規定される罰則下規定する。あくまでもこの条
則下実行は―すすうに指導的を取り締り下や、
ていくというものでございす。

次に罰則でございす。昭和三七四年四月一日から施行する
普通、条例マカば課税下い、つければ直ちに効力あ
る。でございす。が、特、このい、マカ対象が一般市民に

最も関係の深い条例については一応P、R期間
下設けて来月四月一日から行うというところでござい
ます。けれども、今までの館山市火災
予防条例は廃止するということでござい
ます。

午前一時五十分休憩

午前二時十分再開

議長 鴻貴壮作君 休憩前に引続々会議を開催します。

御質疑ごさいませんか。

○二九番 萩生田七郎君 消防法の意味で、同じく、
本条例の制定は必要であります。で賛成でありま
すが、先ほど説明中にありましたが、よくよくで

指導的なるやるといふことですが、問題はこれを文字通り解き、すすといわれ、日常生活が飯を食うことと下風呂に入る、ことかうたま火下することかうあるいは浮城の化学実験のう一切に因する、いわゆる東博理定と申しますか、あるいは刑限理定と申しますか、さういうものが含有されてある、いわゆる私ども必要といひありまするけれども一切の条例に縛られ、これに違反すれば処罰される、こゝういふわけなんです、ありますから一つ再確認したいことは、あくまでも雑則の中に水道の減水がある、この場合には届出なければならぬ、これ一つ下みても水道は毎日減水あるいは断水してある、毎日届出なければならぬ、というふうな文字通り解釈、すすれば、こゝういう状態にすぎます、従つてあくまでも当るは公けに風下吹

のせすに市民のサーベントにゆめるパブリックサーベ
ントとして指導してもうう 処罰は目的をないという
ことと文章通り実行してもうう、これと符に石願
いさうさうさうさうの答弁をお願いいさうさうす

・松野探長山口実君の答へ申しあげます

処罰関係は法で示されたものではないさうさう本法
にひてさうさうす処罰関係は第四章、危険物関係に
のみ適用されさうさうさうその他については一般行政事務
といさうさうさうさうさうせん、

それへう取り締まりの件でございいますけれどもやけり
法に示された通りでありさうさうさう一般個人の家庭につい
てはみわりに取り締まりするにとり禁じられてあり
ます、あくまでも民主政治のよきと作られたいのでござい
ます

ニ九 査査生田七郎君 あんたの答弁は口、ておうぬ、私がい
うのはあくまでも指導的ニれ下や、てこの条例下
実行ーなけれはなうないであるから、あくまでも親
切にペプリックサーバントとして市民の公僕としてこ
れ下実行ーなけれはなうぬ、処罰するのには第三義
的 第三義的の問題をすけれはともこれ下実行レナリ
ればなうないから実行する指導的方法下懇切にや
うなけれはなうないからや、てくれということ下お
尋ねしてくのです、 段々風下吹せて建築すること
から家の改築までこの条例にかゝてあるのである
かうミういう意味において再確認の箇所下ーである、
・松野探長山口実君 本条例の理定については査査生田議員の
いわれ通りにとゞまてもサーバントとして市民の福祉
の上に、て高左的取り締まりはいけないう、あくまでも

も指導的の方法でやる、というふうな考へてあります
二番(山本 昇 君) この条例の必要なことはもちろんでござ
います。三番(三 点) 下お尋ねしたいと思ひます。

まず第一にこの条例のもとと申しますか基準とい
いますか、それと何かによつて示されておりますか、
この消防法というものがあります。この中に先ほ
ど課長さんへう説明がありましてこの条例のありも
つもの、は公衆の出入する場所、理定、火下使用する
る設備の位置、構造及び管理の基準、それへう指定
数量未滿の危険物の貯蔵及び取扱ひの基準、さうに
火災に關する警報の発令中へおける火の使用の制限
というものが中心になつてあります。それから次に館
山市へおける火災予防上必要な事項というところあ
えて入れてあります。この点はどういう意味である

また先に先日と救生田議員のう運営という面におき
まして質問がありましてこれが当然でござります
が、罰則というものは一部に限られて全般的には指
導性のもとにござります。今ようの解釈であるのでご
おいます。そこでこの罰則の規定がありますとこ
ろの五。条以降の条文につきましては指定数量未満
の危険物 準危険物及び特殊可燃物の貯蔵または取扱
いの技術上の基準というところが第四章にあります。具
体的にこの指定数量未満というものは、教はでてありま
す。それが個人、家庭においてこういうことである
のかどうか。その点で教えていくつもりで、

消防課長山口 実司 この条例は市議会で作ったかどうか
というところだと思います。この条例案でござります
が、これは消防方でもって条例準則というものが下作り

まゝでその草案に基きまゝでこゝに作る。そのでござい
まゝで指導方針といふ。まゝで日本全國どこにいつ
てもこれに基いて取締りするやうにこゝいう趣旨
の下に作られまゝで、

四章、関係の左陳列でございます。これは一般家庭に
は日と人と関係はございせん。

一番（山本 早君）もちろん課長さんの御説明によります
と一定の基準というものが消防庁によつて示され
というこゝでございす。そうすると目的の第一条
の館山市における火災予防上必要とする条項云々と
いうことも形式的なものであつて別に館山市は館
山市独自の見解の下にそういふ規定を作られて
いふ。こゝいうふうな解釈してよろしうござい
ます。これ下附つていたゞまゝで、

それのうたいの御説明によりますと要するに一般の家庭に関連することばかりであるとかたゞ火のあるとかいうことばかりですとこれはも、ばら罰則規定は全く指導的なものであるということだと思ひますすがそうすると先づと第三の条の規定は一部のそうーなものと取扱う業者、あるいは事業所というものと限定されることと解釈してよろううございいますか、この二点です。

総務課長山口 実司 第一点、錦山市における火災予防に必要は事項を定め、こうありますすべしはやはり条例準則によりまして各市町村ともこの法令に基づいて条文を作、かような解釈で作、たのでございいます。

それのうたいのとちがは火は一般家庭用から工業用

に至るまで右範囲の規定が設けられております。
 左喰物関係でございすすが大量に取うのは業者で
 あつて業者は本法でもって規定されております。
 当然この条例に違反すれば本法に違反するわけです。
 個人に於いてはこれだけ多くの左喰物下帝にもつてゐる
 という数値はほとんどないわけにございすす。

一番(山本昇君)もちろんございす課長さんの説明で指定数
 量以上の量下もつてゐるのは業者であるということだ
 ろうと思ひますが第四条に指定数量未満と左喰物と
 いう文句がござつてあるからあえて言ひてゐるわけであつて
 これは一般家庭に肉係があるかどうかということ下
 関するといふ。

課長(山口実君)やはりこの条文に示されて通り指定
 数量の五分の一から五分の一以上下もつてゐるといふ場

合には当然本条例の違反と取ります。該当するわけ
でございまして、百とんの本市においてはそういう該当
者はないと思っております。

一七番(高村信作君)この大分消防条例はまことにいいわけ、つく
すべしと思っております。私の質問するところは関係箇所に
あるのです。この適用が、あつてもない一般大した場合
のことにつきます。水資源の確保が必要だと思つて
それは陸上の設備はもちろんです。が、場合によつては海水
下も消防用に供する案はあつてありませんか。
また陸上の施設といふことも、不十分だと思つて
それに対する設計画下……

。高村信作君(山田実君)多分施設のこと、思つてますが、ういふ点
は法律の設備基準の中に示されてあります。で、建築す
る場合には建築基準というものがございまして、いろいろ

ろの設備として設けられ建築の許可を受けることになつておきます。条例でつく法律の中に取締をしようとするのであります。海水のことについてもそういうことを施設はやはり消防方は火災予防上必要な措置を下す。具体的にびくびく法律では火災予防上適切なる処置を下す。そういうふうなことをおこなうてどうしても海水なども使用して消防につとめなければならぬ。ということになるので、場合によつてやる、こういうふうな考えておきます。

二四 釜飯田義男君 この条例については異議はないのでございます。この条例の通り一般市民に至るまで周知徹底してあれば火災はあそうく未然に防がれるのではないかと考へるのがあります。レアーがあらうく、うく一般の人たちは火下疎漏に扱ふと

いうことには火災というものは原因するのではないか
と思います。従ってこの条例下どのようなふうに末端に至
るまで周知徹底し、人民、していか、この努力がなされ
なければ「画」のいた餅」に終るのではなないかと思いま
す。市の当局に於する具體的の計画、そのやり方に
ついて脚発表下願います。

・総務課長山口実君　人民関係の計画でございまして、バー
今計画してございまして、これは市に危険物下扱う危険
物協会というものがございまして、その協会で右報告
発表いたします。その中に本条例の制定の趣旨と
いうこともう下掲げようと考えていたわけにございま
す。それのう市民には市の右報告計画にてございま
す。その条例の内容下変更するようになり、これも右報告
利用いたしまして、危険協会の関係の協力下得ました。

てア、凡一たいと考えてアります。

。二四番（飯田義男君）大体的なる人ですべし。ア、具体的に各
家庭實際手下と、マ指導することと下より以上や、
ていくこととバー審適当ではないかと思ひます。ア、この点
についてはどうですか。

・旅務課長（山口 実君）この点についてはすでに現在でも宿防
署に於いてはさういふ、家庭、診断等下や、てアります
す。ア、マウバ、この条例が施行され、すれば四月一日下機
に各倉田とかあるいは市の連絡機関下通、ア、て
マウに細い計画は立て、や、ていくつもりでござい
ます。

。二四番（飯田義男君）よくわかりました。いすかにいふと、マ
ア、マ、この条例が将来生まれて、今よりよりも火災が
非常に減少する、というふうなため、いろいろ、今より

以上の努力を払ってこの条例が生まるようになっている
と思います

・三番(三沢 節君) 本条例専体的なもので結構だと思います
ます。また、大々々事業所とか業者は心配ないようであ
ると思います。一般家庭においてこの規定に違反して
ような施設そういうものがある場合にはこれを直
すわけにはどうもないものか、そのまゝで逐次直して
いくように指導するものか、この点下を尋ねたいと思
います。

・松野課長(山口 実君) こういう規定を守らないために火
災が起ると、こういうことである場合当然万全の策
を講ずるようには指導するつもりでございします。

・三番(鈴木 孝君) この問題については消防委員会下にお
けるように、なか

。松樹塚(山口 実君)消防委員会下招集いづゝて一本
 づついう条例でまゝすほうというこゝと下説明いづゝま
 ーで、

。三五番(黒川佐太郎君)これ下作りまゝてもこれの徹底一に
 くては意義がないのでおふいづゝて私思ひますすのに
 これ下徹底させる當時者もこれに対する努力が必要
 じゃなからうが、一案としてよくかまひ下検査
 になりまゝすべ一年に一回位検査があると思ひますすが
 あゝ、それとは非常に大事なこゝとじゃないか 天災とい
 うものは油断というものがさせるのでありまゝすほう市
 民に対して緊張感下与えるというこゝとで私は有意
 義だと思ふのでありまゝすすがそういうこゝと下今後もう
 ずゝとぬきぬけてやゝていゝくというこゝとがでまゝす
 とうかお尋ねーなと思ひますす

・消防課長(山口 実君)一応市の条例ができておわりでございます
すべからうに四八条関係で細かくやる基礎がまだござい
ていないのであります。当然この甘規則についてもし
やるわけでございますが、黒川議員の御期待に合うよ
うに努力いたします。

あとの点についてはお専門であります。世人へ消防署長
より答へさせていただきます。

消防署長(安藤 龍吉君)お答え申し上げます。

この御意がらついてはいろいろと方法があると思いま
す。が今私の考えておりますことは先ほど二四番議員
さんへ御質問のあったようにも、と掘り下げて例
えば業種別に常に座談会を開いてこの普及して
ていまして、それのうちは一般家庭の診断断も消防
団と協力しております。が遺憾なべう現在のところ

は人員が不足してありますので、消防署員が不足するわけであらうということになります。これでもありません。一つでござるだけ各家庭の防火診断に行かない、これに過ぎません。これは工場等は二四時間前にあうための通知をする、一般家庭の場合にはその家主の了解を得なければなりません。ということになります。私の方はあくまでも了解を得て指導的な立場をきつて親切にその防火診断に双方とも了解の上で実施したい、そうしてある程度の危険限度にキャッチして、その都度この条例の徹底を期してまいります。このように考えと

ニヤ番(鈴木市蔵君)私は市長さんと同じです
この条例で3ヶ月以上はミ下実行していくのが

市の運営だと思ふ。その場合にもまじり込むと、却
つてその事務が複雑になる。その場合にこれに何向とか
離すという規定があると思ひます。金もうんと取る。
会社もうばひの舊規定に基いて直ちに直すことばで
まる。またわれわれの家庭においてもこれに直すに
は金がかかる。当然この条例下で実行していく場合には
なおさづけられなうぬ。当然消防署の方からや、て
くると思ふ。これ下や、てさづけられ何々もなうな
いといふことはいえぬ。その場合に市としてその裏
付けにこの条例の実行していく場合はこれにや、ての
おとすだけの金で幹線してやうさづけられなうない。
貸付といふやういふ方法でできるかと思ひます。で
さづけられこの条例はあつて効果がないと思ひます。

市長(田村利男君) 漸進的にやういふ不備な点を直して

く 金で買わなくてはならぬ早く買ふていって
 まい、 いろいろふうには極力お頼みする方法として
 して今市の手算でもって個人の手算をやりかえてや
 るとかいうふうなことはできません、 個人にかけ
 ては保員が個人のサイフと相違うエでやるゆえに早
 く何人も同めせるようにいってほしいと思います

ニ七番 鈴木市蔵君 最後へ一言念ふておきますが四
 月一日のう旅行するといふ御説明ですがその場合に
 今あんまりい、 金で買つて次等な酒を飲むこと、 くれ
 び了解してよろしくいいますか

市長 田村利男君 よろしくいいます

ニ八番 田中禄郎君 前々からこの問題で悩んでおられるので
 さいいます 麦下焼く時分です 麦下多くもす
 んです 麦下時非常に多く煙がでるのです

う和のころでもすのぼろ届せりけはなぬ、で
ろうめという箇向にくる方であります。和は一々届
おてお、まは商売になうないや、まーまといふ
まきでやうせることもございす。如、方でもや
下あつてこれ下もすと相違煙がでる。また炭焼
れま、て相違の煙がでる。それ下一々消
財界に届せろと四五条です。これに書いてござい
ます。ま、けは時と場合によ、まは届おなくともい
もんじやないかとこのように考へます。場所が山
へ近くて山火事になつてお、しゃるすう別でござい
ます。また麦の取入れのときも取入れ下やうぬとい
。ても雨へ近くとまきあります。へうのわいてお、て
雨へ降うけりけはや、てーまおうじやないかと相談
べま。まきとまきも多分にあつてゐる。てー

その時、家に帰って有線下のリッパケればどうな
いうことになると大マダマイナスになると思
います。これはある程度は見逃していくとい
うことだと思います。徹底的にやりなると

すれば届かすければどうなということにな
ります。

その大小、色分けですか、は、よりわ
かるといいます。

まず、消防署長さん、お考え下さい、と
思っています。

消防署長（安藤 竜吉 君）お答えい
ます。お角へう

みま——て煙の方向について、ええ、
勘定も、て

わかっている。平素、いいないところ
から煙がでますと

一応連絡下とる、です。あ、その方
は、麦だとお

っしゃ、でも、私、方は現場をみ
なければ、麦だか

何だか、わかんない、麦だと思
う、でも、生動、ない、場

合は、一体、どう、いうことにな
りますか、こう、いうこと

なやうでござるなり御連絡願います。

ニニ番(田中祿郎君)のうりきーた。でまただけ連絡いー

ます

議長鳩貴壮作君)議案第九号討論省署原案通り可決
いーきーすに御異議ないでせんか。

(「異議ナシ」と呼びあがり)

議長鳩貴壮作君)御異議ナシと認めます。
よ、て本案は原案通り可決されうーた。

議長鳩貴壮作君)日程第二議案第一〇号下と程いーます。

(書記朗読)

議案第一〇号 館山市市税条例の一部を改正する条例の制
定について

税務第一課長(高木哲三君)議案第一〇号について御説明申し

とします。

今日地方税法の改正により、館山市税条例の一部改正
をしようとするものであります。

今回市町村民税の賦課方法といつて市町村と
しては市町村民税所得割の課税方法について昭和二五
年度は所得税額と基準とする方式ですが、第一
課税方式によつてあり、昭和三年度以降は五
つの課税標準により、課税する方式が認められ、市町村
は実情に応じて自主的にその一つを選択出来るよう
にしようとする。第一は所得税と課税標準とする方
式、いわゆる第一課税方式、第二は所得税の課税総所
得金額、課税通算所得金額及び課税山林所得金額の
合計金額と課税標準とする方式であります。
第三は課税方式総所得金額より基礎控除額と控除

一々金額下課税標準とする方式、これは第二方式
とし書でいいます

四、第二課税方式の本文の課税標準から所得税額下
控除一々金額下課税標準と一々方式、これは第三
課税方式^本文であります

五、第二課税方式但書方式、課税標準から所得税額
下控除一々金額下課税標準と一々方式、これは第三
課税方式但書であります、このような課税方式の

選択は市町村の財政状態、産業構造、住民所得の
状況等の事情に応じて課税方式の自主的に選択を
する、という意味で自治の本質にかなうものと考へら
れてゐるのであります、一々からその反面一つとい

ふ、一々から今までの課税方式では所得税の課税下
から、課税標準とする方式下としてあるため所得

税の改正が自動的に所得割に影響を及ぼし、納税者数、税額の減少を生ずてゐることは、負担割合に基調とする住民税のあり方及び地方税法の現況からみて適当ではないといふことはいわゆるのであります。

二つといつても、課税方式の異なる市町村間において同一程度の所得者でありながらその負担にいろいろの相違を生ずること等が今までの欠陥とされてゐるものであります。

三といつても、これからのうちまず市町村と異なする住民負担の不均衡の問題については、それと特に「第一方式但書」と「第一課税方式」と採用する市町村間、相違がのこるものとみられ、昭和三二年地方税法の改正において第一方式が第一方式に、ついても第一方式による場合の所得割と大に負担が等しくなるようにいわれる。

る準拠税率及び収養親族の數に依する税額控
除が法定されるのであります。以上簡單であり
ます。本条文の改正要点として申し述べます。

議長（鴻貫水作君）暫時休憩いたします。

午前十一時五十分休憩

午後四時三十分再開

議長（鴻貫水作君）午後、出席議員數三名休憩前に引続
き会議に用います。

石井（一）さん、さう、際都合により今朝、延長
し日程に追加し直ちに議題といつていいと思ひます。
これに即座に議ありますせんか。

（「要議です」と呼ぶ者あり）

議長鴻貫壮作君御異議ございと認めます

よって日程は遅延されました

お伺いいたします。本定例会の会期につき議今運営協議会の意見は再度二日間延長するということであります。従って十二月二十八日まで二日間会期を延長するものと御異議ありませんか。

(異議ござい)と呼ぶ者あり

議長(鴻貫壮作君)異議ございと認めます

よって会期は十二月二十八日まで延長されました

今日の会議はこれにて散会いたします。次会は十二月二十八日午前一時開会いたします。その議事は今日の日程の残余議案といっております。散会いたします。

午後四時三十分散会

